

平成 26 年度事業報告書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

社会福祉法人 こぼと会

あおぞら保育園

(ロ)延長保育契約数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1時間	25	26	29	30	30	33	34	31	31	34	34	35	372
2時間	8	8	8	8	8	8	8	8	8	6	6	6	90
3時間	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	39
4時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	37	38	41	41	41	44	45	42	42	43	43	44	501

(ハ)しょうがい児数及び名簿

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H・H(女児)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
T・U(女児)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
K・U(男児)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

(二)一時保育

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
半日	239	214	191	284	350	218	241	211	257	203	252	353	3013
一日	75	82	78	124	65	100	91	81	88	84	90	124	1082
	314	296	269	408	415	318	332	292	345	287	342	477	4095

(ホ)保健管理

4月 ギョウチュウ検査

6月 歯科検診

二期 視力検査

毎月 健康診断(園医 江崎宗憲医師)

毎月 身体測定

毎月 布団乾燥

乳児保育

「体幹を育てる」をテーマに保育の深まりを目指した 1 年であった。子どもへの援助に対する科学的な視点から、具体的な目標を取り入れたことで、明確な援助方策を職員共通のものとして実践することができた。子どもの育つ過程を早い段階から行動として見つめられるようになったことで、保育の連続性を意識した保育内容が一段と深めることができた 1 年であった。保護者にもその説明ができ、課題を抽出する作業を伝達することでお互いの意図の共有化を進めるきっかけとなった。27 年度にしっかりとつなげていきたい。

幼児保育

乳児同様、『体幹を育てる』をテーマに科学的な視点を取り入れた保育を実践。幼児組という枠を新たに設け、その枠の中で「感覚統合チーム」を職員が主体的に運営することでより子どもの行動に寄り添った保育実践を一年かけて築きあげていった。

それと平行して、多摩市の事業として、ソーシャルスキルトレーニングという年長向けの事業の 2 年目。子どもだけではなく、その情報を保護者と相互交換できる体制を作り上げ、子どもの行動を客観的に見つめるシステム作りを構築した。それを元に就学に向けた取り組みを行ったことで、保育園、保護者双方向の意思疎通が図られ、子どもの行動の変化が一段と目覚しい結果をもたらした。共通ルールを作ることで、子どもが安心して行動を起こせるようになり、子ども同士のコミュニケーションの熟達も進むことになった。

これら二つの事業が重なり、うまくリンクしたことで、特に年長児の活動にダイナミックな人間関係を反映する出来事が増えたと同時に、確たる自信を持って小学校へと進むことができた。

地域向け事業

① 一時保育

今年度も、年間延べ人数が 4000 人近く、利用率の高い一年であった。子どもの人数に関係なく、職員の動きを整理することで安定した運営を行うことができていた。

リーダー格の元井副園長の貢献はもとより、職員一人ひとりが力を合わせた一年であった。

② 子育て支援

今年度も、ノーバディーズパーフェクトプログラムを開催する。(6 回連続講習×2

回開催) 特に参加者の共感作用はすばらしく、協同的な仲間作りの情勢に欠かせない事業であると確信をする

研修・講習

多摩市保育協議会が設立され積極的な参加をしながら研修効果を高めるよう意図した。職場内でも、学童を含めた毎月の研修を行うことにより、0歳から9歳という発達の筋道を見据えた共通理解を結べる努力をした。

	研修名
職場研修	職場内研修 ・感覚統合研修4回(講師:島田療育センター高橋作業療法士) ・コンサルリーダー研修(講師:深代氏)
	クマファクトリー保育実践研修年2回
講師派遣	無
職員派遣	東京都発達研修
	南多摩保健所研修
	東京都社会福祉協議会主催研修
	多摩市保育協議会研修 (主任保育士会、栄養士会、看護。保健師会、障害児会)
	保育士カウンセラー研修
	感覚統合学会研修
	新会計基準講習会

考 察

《病欠状況》

今年度の病欠者数は762名と昨年度より、45名増えている。

発熱などのかぜ症候群による病欠数は昨年度よりも70名程度減少しているが今年度は3年振りにインフルエンザの流行があり、1月は延べ人数100名近くの園児がインフルエンザA型に罹患して欠席している。平成22年に新型インフルエンザの流行があり、保護者の予防接種への関心も高まっていたが、ここ2年間は、ほとんどインフルエンザの発症がなかったためか今年度のインフルエンザ予防接種率は全体で58%（乳児48%幼児64%）となっている。流行を抑えるために必要な免疫獲得率は、インフルエンザの場合30～75%となっているため、来年度以降は70%以上を目標に予防接種勧奨をしていく。

その他の予防接種に関しては目標とされる予防接種率を達成しているが水痘のみが85%（目標90%）となっている。今年度水痘は兄弟から感染した1名の発症があったが、クラス内で1名への感染で終息している。水痘の予防接種は2回の定期接種に変更となったため今後接種率が上がると思われるが、引き続き予防接種調査を行っていく。

今年度多かった感染症としては、その他溶連菌感染症や突発性発疹が挙げられ年間を通して例年より多く発症があった。特に溶連菌感染症は今年度都内でも例年より多くの感染者がでていたが、当園でも9、10月に10名以上の幼児が感染している。来年度より多摩市でも感染症情報収集システムを導入予定になっているが、日々サーベイランスを入力確認しながら必要な感染症対策を行っていききたい。

伝染性膿痂疹（とびひ）は季節に関わらず、発症する年が多くあったが、今年度は夏季に3名のみで他の園児に感染することもなく終息した。今年も引き続き、スキンケアや早期発見・受診勧奨に努めていく。

《事故報告》

今年度の事故報告は16件と、例年より多くなっている。内訳は怪我12件、誤食1件異物を耳に入れた事故1件、肘内障1件、吸入器具破損1件である。

誤食に関しては、アレルギー児に普通食のおやつを一口食べさせてしまうという事故だった。すぐに担任が気づき、除去食に変更、症状はでなかった。4月はじめのクラスが落ち着かない状況で起きた事故であったため、クラス内での職員の動き方、役割分担など話し合い、再発防止に努めた。

怪我 12 件の中では 9 件が年長クラスで起きている。同じ園児が 2 回怪我していたり、目の怪我に関しては同じ週に 2 回起きていたりとなかなか反省が活かしきれていない様子がみられた。6 件は室内で起きている怪我であり、毎回再発防止への対応に園児への危険行動周知や環境整備が入っている。活動範囲が広く、行事も多い年長クラスは日々の荒ただしさもあると思われるが、だからこそ丁寧な対応、環境整備を心がけていく。

その他、初めて起きた事故として、吸入器具の破損事故があった。新しく吸入の補助具を持参した園児が、自分で組み立てようとしたところ破損してしまい吸入ができなくなった。今まで、幼児の場合自立を目指すという観点から預かった薬を（吸入・目薬・軟膏など）自分であつかえる場合は職員が見守る前で本人に薬を使用してもらうという事があったが、吸入に関しては、喘息発作など生命に関わる薬であるため、今後は必ず職員が扱う事を徹底する。

《発達》

今年度の身長・体重の発育は全体的に順調であった。学校保健統計調査で言われている体重減少（肥満傾向児の減少と痩身傾向児の増加）が当園でも該当しているのか、2 才位クラス以上は全クラス 1 年間の体重増加が 2 kg 以下になっている。痩身傾向児の増加については注目して経過をみていく。

0 才児クラスでは体重が 3 パーセント以下以下の園児が 1 名入園。入園後発熱による休みが多く、アデノウイルス感染症と中耳炎で入院した際の血液検査で貧血と卵アレルギーが分かる。卵は今まで摂取しており特に症状はなかったが体重増加不良の原因かもしれないと考えられ卵は除去することになった。その後、体重増加は順調で年度末には 10 パーセント以上にまで成長している。

1 才児クラスで低身長疑いの園児は経過をみていたが、1 年間で標準偏差が -2.0 から -2.2 となっている。今後園医と相談しながら経過をみて必要であれば保護者に話をしていく。

2 才児クラスにも身長が 3 パーセント以下以下の園児が 1 名いるが今年 1 年間の伸びは平均的なため、経過観察のみ続けていく。

5 才児の卵・大豆アレルギーのあった園児は今年度よりアレルギー解除となったが、体重の伸びは 1.8 kg と平均的で痩身傾向に変化はなかった。

5 才児で体重が 3 パーセント以上の女兒は今年度も 10 月までの期間に体重が 2.5 kg 以上増加したが、それ以降はほとんど体重の増減なくすごしたため、1 年間で考えると肥満度は変化なく過ぎた。

今年度より、全員の健康記録に肥満度判定曲線を入れたことで体格の判定が簡易になった。ただ、年齢に合わせて発達、低身長については確認が難しいため成長曲線の活用も考えていく。

年度病欠状況

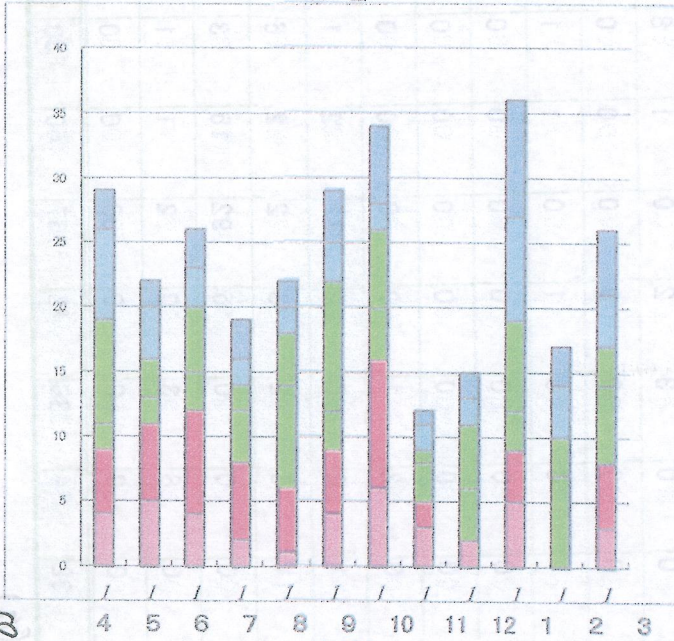
2015年5月19日

病名\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
風邪	風邪	4	6	8	3	3	5	13	6	4	8	4	4	68
	鼻汁	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	咳	6	1	1	0	0	1	5	1	3	6	2	2	28
	喘鳴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
邪ねつ	29	28	29	20	27	22	37	12	10	48	11	31	304	
扁桃腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
溶連菌感染症	0	0	1	0	0	0	22	10	0	4	4	2	43	
気管支炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
喘息	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	5	
中耳炎	2	2	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	9	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
結膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ウイルス性胃腸炎	0	0	1	0	0	0	0	0	4	1	2	4	12	
突発性発疹	6	3	0	1	0	0	0	0	3	0	0	2	15	
プール熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
手足口病	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
流行性耳下腺炎	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
水疱瘡	0	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
とびひ	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
下痢	5	0	0	0	1	1	0	0	3	3	0	15	28	
嘔吐	2	0	4	1	3	0	0	3	2	0	1	8	24	
用心して休む	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
体調が悪い	5	2	0	2	0	1	0	0	1	0	1	1	13	
火傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
歯痛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入院	0	3	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	6	
腹痛	0	0	1	2	2	1	0	0	2	1	2	1	12	
通院	0	1	0	2	1	1	3	2	3	2	2	6	23	
インフルエンザ	3	0	0	0	0	0	0	0	5	92	15	3	118	
その他	3	1	6	1	1	0	8	3	0	2	1	1	27	
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	69	55	57	41	41	32	94	38	42	167	46	80	762	

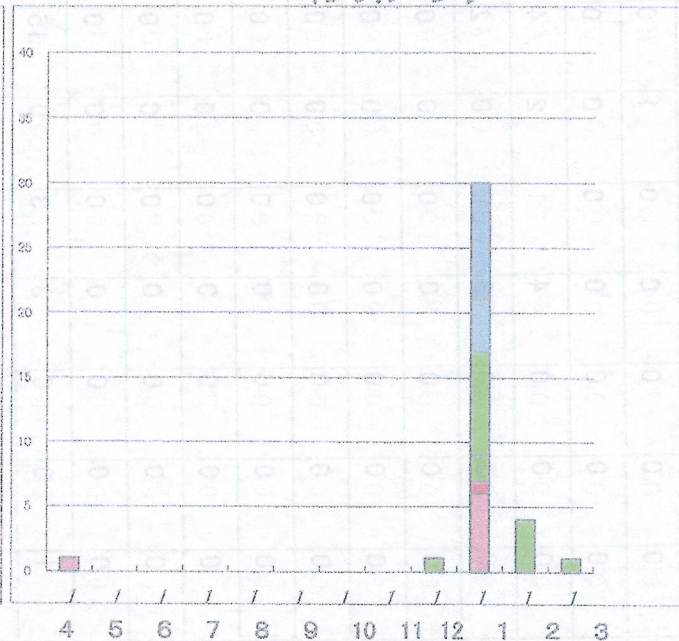
病気統計グラフ

2014年度

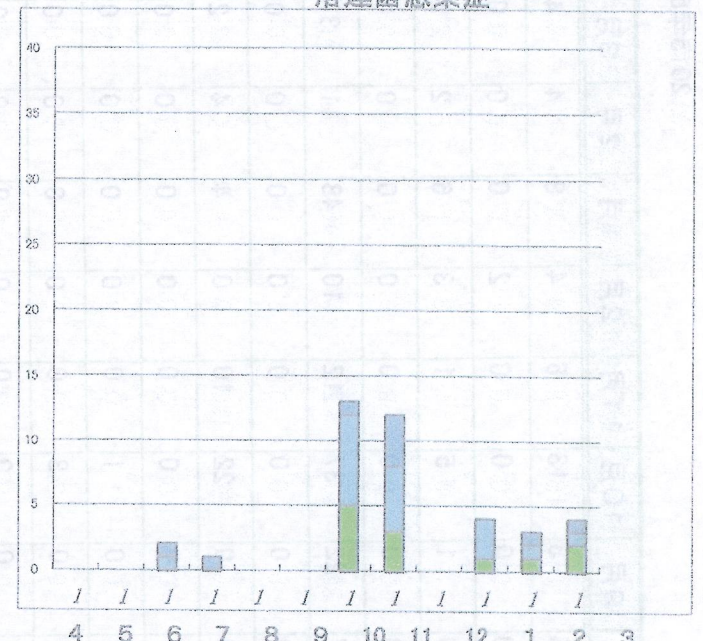
かぜ



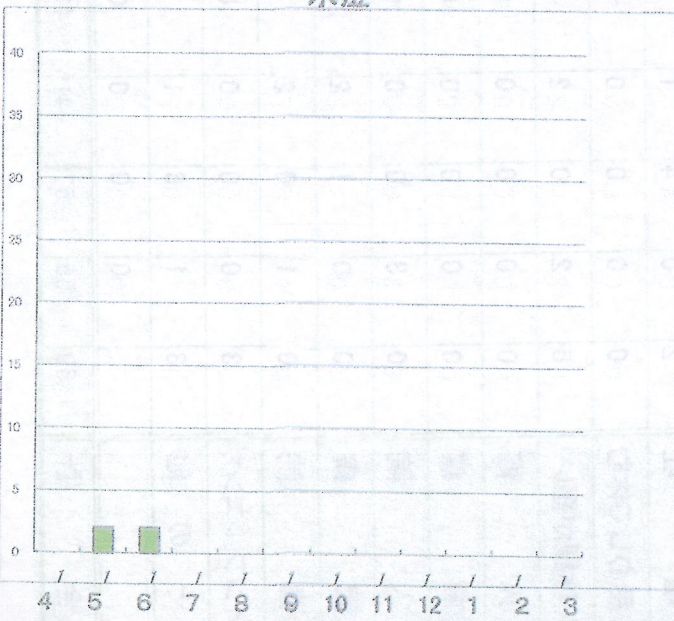
インフルエンザ



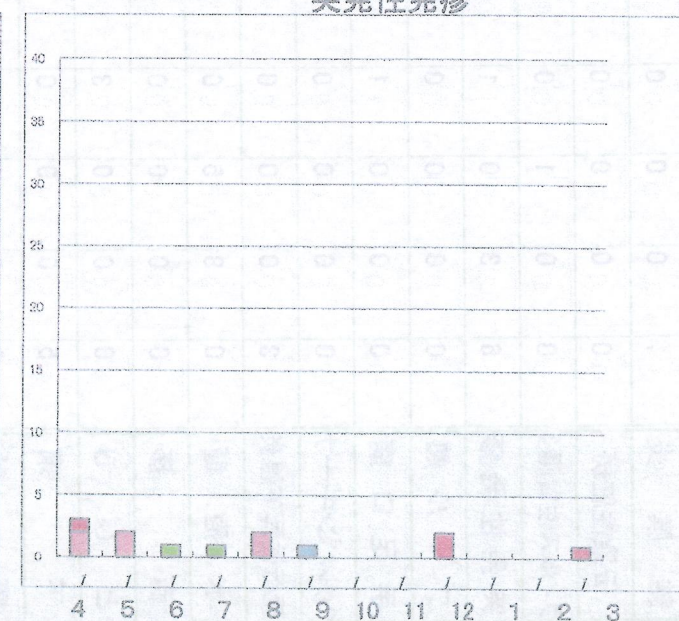
溶連菌感染症



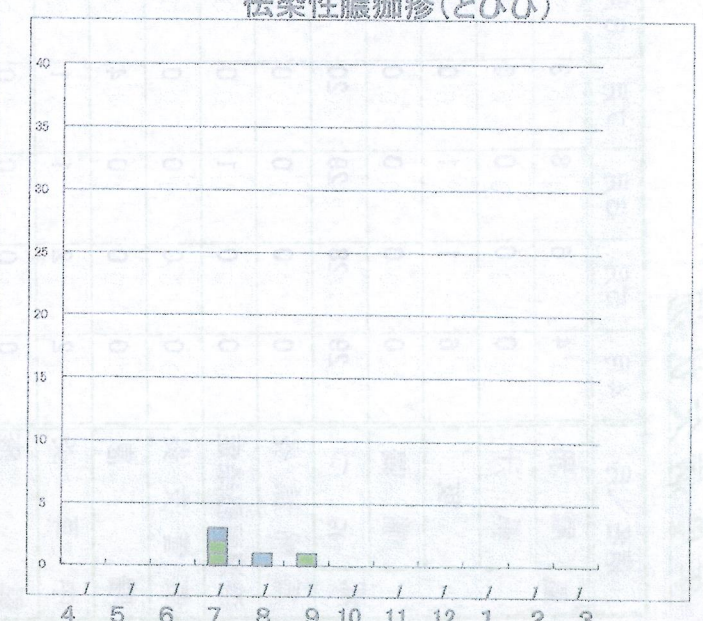
水痘



突発性発疹



伝染性膿痂疹(とびひ)



0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳

2)

H 2 6 年 度 事 故 ・ 受 診 記 録

月 日	組・年齢	時間・場所	病名等	事故内容
4月4日 (金)	うさぎ 2才5ヶ月	15時40分 保育室	誤食	おやつ時、卵アレルギー児に除去食ではないおやつ（アップルパイ）を一口食べさせてしまう。症状出現なし
4月9日 (水)	きりん 3才4か月	11時25分 外階段	顔の外傷	外階段を昇っていた時に転倒。壁に左こめかみをぶつけて出血する。外科受診。処置を受ける。
5月29日 (木)	らいおん 5才1ヶ月	11時00分 東中野公園	歯の外傷	ローラーすべり台で転倒し歯をぶつける。上前歯2本にぐらつきあり 歯科受診。ワイヤー固定をする。
5月30日 (金)	ぞう 3才3ヶ月	17時15分 保育室	耳へ異物 を入れる	粘土遊びをしていて本人が自分の耳に粘土を入れる。除去するがお迎え時少し耳の中に残っており母と耳鼻科受診をする。
7月 1日 (火)	きりん 3才5ヶ月	8時30分 保育室	肘内障	左腕の痛みを訴え泣き出す。 整形外科受診「肘内障」診断され 徒手整復する。
7月24日 (木)	らいおん 6才2か月	12時10分 プール	眼の外傷	プールで泳いでいる際、階段ふちにぶつけ、右目まぶたに切傷ができる。 眼科受診、眼球に異常なく眼軟膏 処方され終了となる。
8月4日 (月)	らいおん 5才10か月	11時30分 保育室	顔の外傷	室内でイスにつまずき転倒。イスの背もたれに額をぶつけて切る。皮膚科受診。皮膚接合用テープで処置する。
9月22日 (月)	ぞう 3才7ヶ月	17時55分 保育室	眼の外傷	室内で寝転んでいた際、他児の足が顔にぶつかり左目出血点できる。眼科受診し点眼薬処方される。
10月3日 (金)	らいおん 5才	11時00分 長久保公園	足首捻挫	なわとびの練習中に足をひねる。 整形外科受診。骨に異常なく「捻挫」と診断される。
10月15日 (水)	らいおん 5才8ヶ月	13時30分 保育室	眼の外傷	画用紙で右目をこする。眼科受診。 眼に浅い傷ができており、点眼薬処方される。
10月17日 (金)	らいおん 6才5ヶ月	15時30分 保育室	眼の外傷	紙で作ったスティックが左目にあたる。眼科受診。浅い傷ができており 点眼薬処方される。

10月31日 (金)	うさぎ 3才6か月	17時30分 保育室	眼の外傷	他児の投げたつみきが右目の下に あたる。眼科受診。眼球異常なく 眼軟膏処方され終了となる。
11月4日 (火)	らいおん 6才5ヶ月	12時15分 保育室	吸入器具 破損	呼吸苦の訴えあり、吸入行おうとする が、児が組みたてようとしたところ 吸入器が破損しできなくなる。小児科 受診し吸入を受ける。
11月13日 (木)	らいおん 6才2ヶ月	14時30分 保育室	眼の外傷	他児の投げたカルタが目にあたり痛 みを訴える。眼科受診。眼球に傷はな く問題なし。
12月4日 (木)	らいおん 6才6ヶ月	15時30分 保育室	歯の外傷	室内で他児の頭と口をぶつける。 上前歯2本にぐらつきあり。歯科受診 歯根がほとんど吸収されているため 経過観察となる。
3月19日 (木)	らいおん 6才9ヶ月	9時00分 保育室	眼の外傷	室内で走り、イスにつまずき転倒。 床に顔をぶつけ、右目まぶたに切傷が できる。眼科受診。眼球に問題なく眼 軟膏処方され終了となる。

平成26年度 発育表

平均値	身長			体重		
	4月	3月	その差	4月	3月	その差
0歳	71.07	81.91	10.84	8.93	11.39	2.46
1歳	79.14	87.35	8.21	10.61	12.94	2.33
2歳	88.9	95.86	6.96	12.94	14.38	1.44
3歳	96.88	103.32	6.44	14.76	16.29	1.53
4歳	103.88	109.75	5.87	16.53	18.14	1.61
5歳	111.58	117.5	5.92	19.36	21.29	1.91

給食活動

献立

一汁二菜の和食系の献立を中心にした。

主食は乳児は白米・幼児は7分つき米にしている。

副菜は和え物など野菜が多めだが、子ども達は良く食べており、毎日の残食量は今年度もかなり少なかった。子どもから「今日の給食おいしかったよ」といわれる事も多く励みになっている。

下膳時に、子ども達の食べ具合などをクラスから伝えてもらうようにしているので食べ易さなど改善され、残菜の少なさにつながっていると思う。

今年度は新しいメニューや季節の食材を意識して取り入れるなどを心がけた。

行事食・年長さんからのリクエストメニュー・バイキング給食は今年も好評であった。

バイキングは、今年度は子どもたちに人気のメニュー、ケチャップライスやタンドリーチキンを取り入れた。おかわりをたくさんできて子どもたちは大変喜んでくれた。

今年度も引き続き、年長さんが毎月の誕生会メニューを順番で決めた。

張り切って話し合いながら、楽しいメニューができています。

献立表は毎月各家庭に配布している。

献立にはないが、農園へ出かけた時、特別の散歩の時など、お菓子を用意した。

調理

誕生会のケーキカットは、今年度も引き続き行い、1年に1回の自分の誕生日を子どもたちは楽しみにしてくれた。

乳児に必要なに応じて、離乳食を提供するなど個別対応した。下痢や口腔疾患なども個別に対応した。担任の判断によるが、朝食を摂ってこなかった子どもに牛乳を出した。

今年度も、国産で出来るだけ安心な食材を使うように心がけた。

時々、クラスの子どもが食べている様子を見るようにした。

衛生

今年度も、ノロウイルス・O-157等、発生が通年化しているため、徹底した手洗い・健康管理はもちろん、衛生管理がきちんと行われるようにチェック表を活用した。

食育

前年度の評価・反省をふまえた年間食育計画をたて、それに沿って進めた。

夏には、プランターで自分たちが育てたものを収穫して食べることで、野菜を喜んで食べるようになった。

野菜の苦手だった子も食べられるようになったり、毎年の事ながら関わりを持つことの大切さを実感した。

市川農園さんで掘ってきた筍の皮むきをし、味わい、成長した竹で七夕・流しそうめんを楽しんだ。

また、市川農園さんでは野菜の苗の植え付け・田植え・草取り・稲刈り・収穫を経験した。

包丁を使う調理クッキングは5歳児のみ行った。前年度に引き続き、3グループに分かれて

少人数で行ったので、飽きることなく調理に親しむ事ができた。

自分たちで収穫した米でご飯を炊いた。5歳児は、秋頃から当番を決めて自分たちで炊いたごはんを食べる事を日々の中で行った。

5歳児には給食室の中に入って見学してもらった。

給食を作っている様子や調理器具等を見て、子どもたちは興味津々な様子だった。

給食室をより身近に感じ、食にたいして興味を持ってもらえる良い機会になった。

4歳児はグリンピース・空豆などの皮むき・野菜をちぎって食べたり絵に描いたり五感で感じる活動をした。少人数のグループで短時間に楽しくできた。

咀嚼が上手になるように、食べる煮干を用いて咀嚼の練習をした。

アレルギー

アレルギー児6名に、卵・牛乳・小麦・ごま・大豆・魚のアレルギー食を提供した。

お家の方からも、子どもが美味しいと言って喜んでいると言われていて励みになっている。

会議

月1回給食会議を開き、献立の検討・食育の取り組み・クラスとの連絡等話し合うことで、クラスと給食室との連携をとっている。

0オクラスとは、月一回連絡会を持ち、子ども一人ひとりの離乳食の進め方について話し合っている。

給食室の研修会議を月1回行い、業務の改善をめざしている。

防災対策

非常食は、子どもと職員の分を3日分用意している。

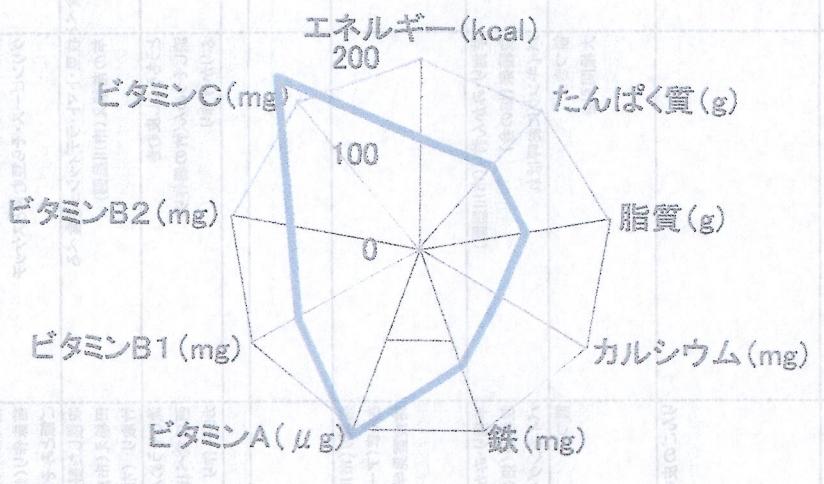
東日本大震災の時には、交通機関が止まり保護者が迎えに来れず、保育園に泊まった子どももいて、非常食の必要性を痛感した。

非常食で必要なもの、多めに買っておいいたほうが良いもの等、器具や道具など揃えたり具体的にする。

栄養管理報告

3歳以上児	給与栄養 目標量	H25.4~H26.3平均 充足率(%)
エネルギー(kcal)	576	116
たんぱく質(g)	21.6	115
脂質(g)	17.9	110
カルシウム(mg)	261	94
鉄(mg)	2.5	127
ビタミンA(μg)	202	207
ビタミンB ₁ (mg)	0.31	146
ビタミンB ₂ (mg)	0.36	137
ビタミンC(mg)	20	233

炭水化物エネルギー比(%)	55	59
脂肪エネルギー比(%)	30	27



給与栄養目標に対する充足率(%)

- ・カルシウムが僅かに不足したが、おおむねバランスよく摂取できた。おやつに牛乳をつけないときは、牛乳の代わりにチーズや煮干しを足し、昼食のフルーツをヨーグルトに変更してカルシウムを補うようにした。
- ・クラスでは、子どもの食欲、体調により食べる量を大人が調整しているのので、数字はあくまでも平均値である。
- ・野菜類を多く取り入れているため、ビタミン類が多くなっている。
- ・炭水化物エネルギー比、脂肪エネルギー比は、適正であり、三大栄養素(炭水化物・たんぱく質・脂質)のバランスはとれている。

あおぞら保育園食育計画表 (テーマ 旬を味わおう) H26年度表実施表

月	園の行事	給食メニュー	旬の食材	3歳	4歳	5歳
4	入園式・進級		いちご あさり・いわし・わかさぎ	メニューボード活用 つくしつみ	メニューボード活用 つくしつみ	メニューボード活用
5	端午の節句 春の遠足	こいのぼりライス	ます・まながつお	植え付け(枝豆・トマト・ラディッシュ) 水やり	植え付け(枝豆・トマト・ラディッシュ)・水やり グリーンピース・そら豆むきとスケッチ	芋掘り(市川農園)・筍皮むき・スケッチ・食べる 植え付け(枝豆・トマト・胡瓜)・水やり 苗床作り(畑の会)・胡瓜収穫し食べる(市川農園) ご飯とみそ汁作り(3グループ)
6	年長お泊り会		枝豆・胡瓜・南瓜・冬瓜・茄子	枝豆・トマト・ラディッシュを食べる	枝豆・トマト・ラディッシュを食べる 芋の苗植え(市川農園)	収穫した野菜を食べる 田植え(市川農園) 竹取り(市川農園)
7	プール開き 七夕 夕涼み会	七夕そうめん おにぎり弁当	トマト・ピーマン・レタス・とうもろこし 西瓜・桃・さくらんぼ 鮎・鱈・うなぎ・穴子・かじき・たちうお	とうもろこし皮むき 西瓜食べ比べ	とうもろこし皮むき 流しそうめん(竹の器作り) ふりかけ作り	流しそうめん(おやつ) 西瓜食べ比べ カレー作り
8						
9	引渡し訓練 十五夜	スコッチエッグ				
10	運動会 ハロウィン	きのコメニュー (咀嚼のためクラスに 煮干を常備開始) パンプキンパイ	新米・さつま芋・里芋・牛蒡・菊の花 しめじ・椎茸・松茸・大豆 栗・柿・ぶどう・りんご・梨 秋刀魚・鮭・さば・ししゃも			稲刈り(市川農園) さんま(アート)を開きにして食べる 給食室見学
11	秋の遠足	カレーパイキング		収穫祭(畑の会) パイキングにお呼ばれ	芋掘り・みかん狩り(市川農園) 収穫祭(畑の会) パイキングにお呼ばれ	芋掘り・みかん狩り(市川農園) 収穫祭(畑の会) パイキングへ招待する
12	餅つき	クリスマスケーキ	小松菜・春菊・大根・蓮根・カリフラワー ブロッコリー・白菜・ねぎ・ほうれん草	餅つき 大根間引き	餅つき 大根間引き	餅つき
1	正月 七草 子ども会	おせち料理 七草がゆ お豆さんマフィン土産	かぶ キウイフルーツ・みかん・はっさく 牡蠣・さわら・にしん・真鯛・金目鯛 まがれい			りんごの皮むき(担任)
2	節分 保護者会	鬼ハンバーグ				
3	ひな祭り誕生会 卒園式 新年度スタート	ひな祭りメニュー リクエストメニュー	グリーンピース・にら・たけのこ うど・グリーンアスパラガス 新じゃが・新玉葱・新入参・せり 春きゃべつ・ふき・菜の花			もちピザ作り

(ト)安全管理

毎月 避難訓練

(チ)保護者会

4月 9月 2月

(リ)一日体験入園

10月～2月 参加者

(ヌ)行事

4月	入園式、保護者会	11月	芋掘り
5月	遠足(年長:多摩動物公園)	12月	クリスマスバイキング
6月	交通公園見学		餅つき
	保育参観開始(随時)	1月	新年子ども会
	歯科検診		子ども会
	お泊り会	2月	節分
7月	プール開き		保護者会
	七夕	3月	ひな祭り
	夕涼み会		お別れ遠足
9月	防災引渡訓練		卒園式
	保護者会		進級
10月	運動会		
	一日体験入園		
	遠足		
	ハロウィン		

毎月の行事

誕生会・アート指導・お茶の稽古・

(3) 職員の待遇

(イ) 健康管理

- ・健康診断 (田村クリニック)
- ・検便 給食担当者、O才担任…毎月2回
全職員 検便…4月、10月

(ロ) 労務管理

- ・社会保険に加入
- ・退職金(福祉医療機構・東京都社会福祉協議会に加入)

(ハ) 待遇

- ・就業規則により処遇

(ニ) 福利厚生

職員検診、細菌検査など
歓迎会、送迎会等の食費補助等

(ホ) 職員の動き

- ・採用 4月 加瀬田さや香 (臨時職員から昇格)
 四海真紀 (臨時職員から昇格)
- ・異動 9月 田中秀雄 愛宕南学童
- ・退職 3月 村岡輝子

(ヘ) 固定資産購入

固定資産取得費					
3月26日	給食室ピーラー	183,600			
3月31日	エネポ	118,800			
	小計	302,400		小計	0
		合計			302,400